山口情報芸術センター［YCAM］イベント

わたしもアートがわからない

vol.4 知らないうちにはじまっていて、いつ終わるのかわからない
2024年1月14日（日）14:00～16:00　講師：金川晋吾
山口情報芸術センター［YCAM］スタジオA

作品を前にしたときの「わからない」という感覚を出発点に、アートの奥深さに迫るレクチャーシリーズの第4弾

山口情報芸術センター［YCAM］では、作品鑑賞をより楽しみ、理解を深めるためのイベント「わたしもアートがわからない」の第4弾として「知らないうちにはじまっていて、いつ終わるのかわからない」を開催します。

YCAMではこれまで、作品に対する鑑賞者の理解をより深めるため、展覧会や講演などのイベントに関連したギャラリーツアーやバックステージツアーなどのプログラムを実施してきました。近年は、こうしたプログラムの背景にある作品鑑賞の手法のひとつとして「対話型鑑賞」に触れる取り組みもおこなっています。

本イベントもそうした取り組みの一環であり、作品鑑賞の専門家や当事者を講師に迎え、実際の作品鑑賞などを交えながら、鑑賞者の中に生まれる「わからない」という感覚を出発点に、「鑑賞」という行為の核心にアプローチします。

美術史などの専門知識に偏らず、作品に対して柔軟で幅広い視点を共有する本イベントは、作品を読み解く力を養う機会になるとともに、作品を通じた他者とのコミュニケーションの場となるでしょう。この機会にぜひご参加ください。

「わたしもアートがわからないvol.2：
「わからない」からはじまるコミュニケーション」（2022年）
撮影：谷康弘

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

［お問い合わせ］
山口情報芸術センター［YCAM］学芸普及課
〒753-0075 山口県山口市中園町7-7
TEL：083-901-2222　FAX：083-901-2216　メールアドレス：press@ycam.jp　ウェブサイト：www.ycam.jp
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

「つくること」だけではなく「みること」にも重点を置いてきたYCAM

「アートってどうみたらいいの？と思ったことがある人へ」（2020年／撮影：谷康弘）

YCAMでは、2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを応用したオリジナルのインスタレーション作品やパフォーミング・アーツ作品を国内外のアーティストらとともに制作／発表してきました。ただし作品の評価とは、アーティストの知名度や、用いている技術の新規性で決まっていくものではありません。作品を鑑賞し、それについて考え、批評的な視点を持つ鑑賞者の存在によって積み上げられていくものです。そのためYCAMにとって、新しく制作／発表した作品について、鑑賞者がその意味や価値をともに創りあげていく機会を設けるのも重要な活動です。

YCAMでは、作品に対する鑑賞者の視野を広げるために、作品制作に留まらず、作品をより深く味わってもらえるような鑑賞の機会を提供するプログラムも数多く開発／実施してきました。その代表的な例が、公演における「バックステージツアー」や、展覧会や映画上映に際して実施する「サンカクトーク」です。これらのプログラムは、日常的には接する機会の少ない作品の制作プロセスを紹介するとともに、参加者同士の意見交換を軸に多面的な作品理解を促すものとなっています。

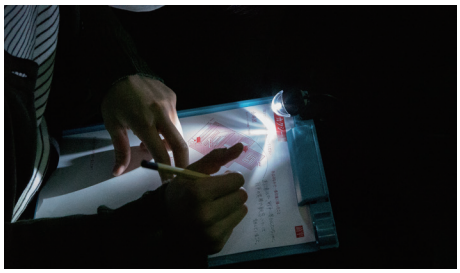
こうしたプログラムを実施する中で参加者から寄せられる声に、作品鑑賞に対するハードルの高さを感じるというものがあります。「美術館では静かに鑑賞するもの」「専門的な知識がないと作品鑑賞は難しい」といったものです。こうしたハードルを取り除き、より楽しく、より深く作品鑑賞をするきっかけをつくる。それが今回開催する「わたしもアートがわからない」です。

バックステージツアー

撮影：谷康弘

YCAMでおこなわれている滞在制作の模様や、その舞台裏を見学できるツアー形式のイベント。普段はなかなか目にすることのできない劇場の機構やシステムのほか、劇場の仕事、アーティストの作品制作の様子をツアー形式で案内する。担当スタッフが作品について一方的に「解説」するのではなく、作品について思ったことを参加者と一緒に話し合う。これらを通して、作品の本質に迫るヒントを得たり、自分と異なる参加者の意見によって視野が広がる体験ができることを目指している。

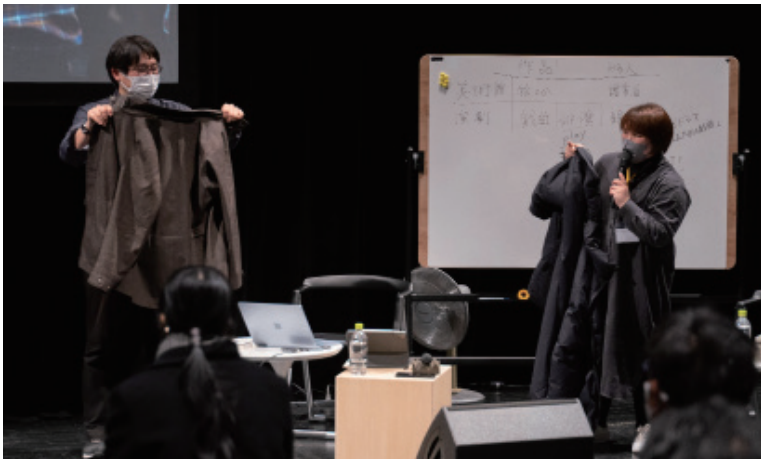
サンカクトーク



撮影：谷康弘

インスタレーション作品や映画を対象に、紙面を用いて対話を行うワークショップ形式のイベント。参加者は渡されたシートに作品への質問を記述し、シャッフルされて手元に届いた質問に自分なりに回答する。シートは匿名で共有され、改めてその内容について全員で議論する。作品に接して自身が感じた「わからなさ」を出発点に、他者と作品について対話することを通じて、作品の持つ多面性や重層性を発見し、作品に対する見方がより柔軟で幅広いものへと変化していくと同時に、作品を見て言葉にして共有する力、批評的な視点を養う。

作品と鑑賞にまつわる様々な専門家から学ぶ、わからないからこその面白さ



「わたしもアートがわからないvol.3：「わからなさ」の重さをはかる」（2023年）
撮影：谷康弘

「わたしもアートがわからない」は、作品鑑賞の際に「どのように作品をみたらよいのかわからない」と思ったことがある人に向けて、その感覚を出発点にアートの奥深さへ迫るレクチャーシリーズです。これまで鑑賞の専門家や制作に携わる当事者を講師に迎え、自身の実践や経験をもとに、アートに対する「わからなさ」についてそれぞれのアプローチを紹介してきました。

vol.4　知らないうちにはじまっていて、いつ終わるのかわからない

今回はゲストとして写真家の金川晋吾、またモデレーターとして鑑賞教育の研究を行ってきた原泉を迎えます。
金川は写真家という肩書でありながら、写真と文筆というふたつの方法で作品を世に送り出しています。たとえば、失踪を繰り返す自身の父のポートレイトを撮影し続け、《father》と呼ばれる作品シリーズを発表している一方で、著書『いなくなっていない父』のように、その父についての文章も発表してきました。こうした金川のアプローチの背景には、制作を通じて「わからなさ」と向き合あおうとする金川の姿勢が見え隠れしていると言えるかもしれません。
今回のレクチャーでは、アート作品だけでなく、家族、他人、自分自身といった人間関係にも光を当て、タイトルにもある「知らないうちにはじまっていて、いつ終わるのかわからない」ものについて考えを深めていきます。

講師プロフィール

金川晋吾（かながわ・しんご）

1981年京都府生まれ。神戸大学発達科学部卒業。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。2016年『father』(青幻舎)、2021年『犬たちの状態』(太田靖久との共著、フィルムアート社)、2023年『長い間』(ナナルイ)、『いなくなっていない父』(晶文社)、『集合、解散！』(植本一子、滝口悠生との共著、自費出版)を刊行。長崎のカトリック文化や平和祈念像、自身の信仰をテーマにした『祈りと長崎(仮)』(書肆九十九)を2024年4月刊行予定。近年の主な展覧会に、22年「六本木 クロッシング2022展：往来オーライ！」（森美術館）など。

原泉（はら・いずみ）

モデレーター

独立行政法人国立美術館国立アートリサーチセンター研究員。 2018年よりYCAMのエデュケーターとして鑑賞プログラムの企画を担当。2023年より現職。共著書に『ここからどう進む？対 話型鑑賞のこれまでとこれから アート・コミュニケーションの可能性』（淡交社、2023年）がある。

開催概要

わたしもアートがわからない

vol.4：知らないうちにはじまっていて、いつ終わるのかわからない
2024年1月14日（日）14:00〜16:00
講師：金川晋吾（写真家）
会場：山口情報芸術センター［YCAM］スタジオA
参加費：無料　※要申込（先着順）
定員：35人　　対象：中学生以上

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市教育委員会
助成：令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
技術協力：YCAM InterLab
企画制作：山口情報芸術センター［YCAM］

申込方法

ウェブサイト：
下記ウェブサイトに用意された申込フォームに必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

www.ycam.jp

同時期開催イベント

あそべる図書館 — Speculative Library
10月28日（土）〜2024年2月25日（日）10:00〜19:00
山口情報芸術センター［YCAM］ホワイエ、2階ギャラリー
世界中から知識やアイデアを集め、知恵を生み出すプラットフォームとしての展覧会です。
会場となるホワイエに設置された大型のドームを起点に、来場者の知識や思い出、アイデアを引き出し、保管し、交換するプログラムを常に展開しており、自由に参加することができます。ほかにも会期中にはワークショップなどのイベントも多数開催します。

コロガルあそびのひゃっかてん
11月11日（土）〜2024年1月14日（日）10:00〜17:00
山口井筒屋（山口市中市町3-3）2階
子どもたちが遊びを通じて自ら考え、創造するための環境としてデザインされた遊び場「コロガル公園シリーズ」の最新版です。
会場となる百貨店や商店街の特性を活かし、子どもたちのアイデアに対してさまざまな人々からフィードバックを受けることで、遊びを通じて他者や社会とつながる「コミュニケーションツール」としての公園を実現します。

Afternote 山口市 映画館の歴史
11月25日（土）〜2024年3月17日（日）10:00〜19:00
山口情報芸術センター［YCAM］スタジオB
山口市における映画館の歴史を、市民の記憶と残された資料などの記録を通じて辿る展覧会です。
アーティストの志村信裕による映画館にまつわる市民の記憶を紐解くドキュメンタリー映像のほか、当時の映画館に関する資料や、貴重な写真や映像を展示します。このほか会期中には、山口ゆかりの映画の特集上映や、映画の歴史を楽しむワークショップなども開催します。